

## 第63回名古屋矯正管区教誨師研修大会

- 1 実施年月日 令和元年6月11日(火)～12日(水)
- 2 会 場 岐阜市 岐阜グランドホテル
- 3 参加者 教誨師87名 矯正施設関係者57名 その他関係者16名  
計160名
- 4 主 題 「安らぎの心を求めて」  
副 題 「自らの尊さに目覚めて明日への糧にしよう」
- 5 講 演  
前名古屋矯正管区教誨師連盟会長 石川 宣  
「教誨の現況」  
東京拘置所篤志面接委員  
(女流落語家) 古今亭菊千代 氏  
「塀の中の噺家 奮闘中」
- 6 班別討議  
発表者  
富山刑務所所属教誨師 原 嘉伸  
三重刑務所所属教誨師 川島 一郎  
豊橋刑務支所所属教誨師 宮部 淳賢  
瀬戸少年院所属教誨師 堂宮 淳賢
- 7 研修成果



第63回名古屋矯正管区教誨師研修大会は、岐阜県岐阜市において、大会のメインテーマを「安らぎの心を求めて」、サブテーマを「自らの尊さに目覚めて明日への糧にしよう」として開催された。

基調講演では、前名古屋矯正管区教誨師連盟会長で現参与である石川宣氏により、「教誨の現況」と題して、教誨師の現状と課題について、これまでの経験をもとに講演が行われた。教誨師として長年活動されている石川氏の講演は、教誨活動を行う上での考え方や課題が的確に示されており、教誨師としての姿勢を再確認する有意義な機会となった。

その後の意見発表会では、各施設所属教誨師による様々な演題に基づいた発表がなされ、その発表を受けた研修参加教誨師との質疑応答によって、活発な意見交換が行われた。教誨師各々が、日々の教誨活動で感じている悩みや率直な意



見を発表することで、自身のこれまでの教誨活動を振り返り、今後の教誨の在り方を考えることができた。

記念講演では、女流落語家で東京拘置所篤志面接委員としても活動されている古今亭菊千代氏により、「塀の中の嘶家 奮闘中」と題して、日々の篤志面接活動について豊富な経験談を披露された。同じ矯正施設で活動する教誨師にとって共感できる内容が多く、今後の教誨活動について非常に参考となり、貴重な時間となった。

